

平成29年度

太田小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 今野敦子

1 学校図書館の概要

学校の紹介

今年度は児童数が44名となり、小規模校・少人数校であることを生かした、児童一人ひとりへの細やかな教育活動が行われている。

『進んで学ぶ子ども』『思いやりのある子ども』『たくましい子ども』を目指す児童たちは、上学年が下学年の面倒をよく見て全学年ともに仲が良く、何事にも協力し合って学習・運動に取り組んでいる。

昨年度からの3年間、相馬地方小学校教育研究会より理科の指定を受け、特に理科教育に力を入れており、調べ学習等で図書室の利用・図書資料の活用が行われている。

今年度で学校図書館支援活動は4年目に入り、現学校図書館支援員の担当は2年目となる。

平成29年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
5名	5名	11名	8名	9名	6名	44名

(平成30年3月末時点)

学校派遣日 木・金曜日 週2回

図書担当教員 江井智子先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 5,268点

学校図書館受入点数(3月末時点) 92点

うち 市費購入点数及び金額 69点(130,496円)

うち 寄贈資料点数 23点

2 平成29年度の課題及び目標

課題1 ブックランド委員会(図書委員会)主催の「理科クイズ」や「おすすめの本紹介」に対する児童の反応がブックランド委員会に伝わりづらい。

課題2 「借りた図書を最後まで読むことができたか」や「心に残った図書はあったか」などの読書活動の達成率・充実率が把握しにくい。

課題3 図書室を調べ学習等で活用する学年と活用しない学年とで利用頻度に差がある。

課題4 電算化作業と分類ラベル変更作業の両立。

目標1 ブックランド委員会の企画について、児童からの反応が直接伝わる工夫をし、達成感とともに意欲を持って活動できるようにする。

目標2 「最後まで読む図書」年間目標冊数の達成を目指し、心に残った図書を発表する機会を設け、有意義な読書を行う。

目標3 図書室を調べ学習等で活用する機会が増えるよう、学級担任に働きかけ、活用回数の増加を目指す。

目標4 電算化作業を行う図書の優先順位を定めて、計画的に行うとともに、4類と科学絵本の分類

ラベル修正作業を完了させる。

3 活動の方針

- ①ブックランド委員会の企画では掲示や発表に加えて、例えば「理科クイズ」では解答用紙を、「おすすめの本紹介」では読書カードを作成し、記入してもらうことで、児童からの反応が形となり、ブックランド委員会に直接伝わるようにする。
- ②最後まで読んだ図書・心に残った図書を明確にするため、貸出カードの図書名に印（最後まで読んだ…○、まあまあ読んだ…△、ほとんど読まなかった…×、心に残った…◎）を付けさせ、年間目標冊数を達成することができたかを確認する。分類については、オリエンテーションや掲示等で楽しみながら学ばせるとともに、貸出カードの図書名の横に分類番号を記入し、様々な分類の図書を読むことができたかを学期ごとに振り返る。
- ③授業に即した図書の展示を意識しながら、学級担任には資料等で利用を呼び掛けることで、利用の促進につなげる。
- ④電算化作業においては、図書ボランティアの方の協力を得ながら行い、貸出の多い9類の図書から作業を始める。また4類と科学絵本の分類ラベル修正作業も計画的に行う。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	ブックランド委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の先生との方針・スケジュールの確認 ・貸出カード作成 ・図書館オリエンテーション ・学級文庫配本開始 ・学年別読み聞かせ等（～3月） ・ラベル修正作業（～3月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織作り ・前期活動計画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援会議 ・図書の借用開始 ・学校司書との打ち合わせ（月1回程度、～3月）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出開始 ・課題図書の受入 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出当番開始 ・貸出返却受付（～3月） ・図書室の掲示作成 ・理科クイズの作成① 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題図書の発注、納品 ・ブックトーク研修
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・電算化作業開始（～12月） 		<ul style="list-style-type: none"> ・電算システム研修（学校教育課主催）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期貸出冊数集計 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み用貸出受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとしゃかんだより配布
8月			<ul style="list-style-type: none"> ・電算システム研修（学校教育課主催）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・理科読書推進活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期活動の反省 ・理科クイズの作成② 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックランド委員への読み聞かせ指導 ・読書週間企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・後期活動計画作成 ・全校集会読み聞かせ練習 	

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別読み聞かせ等 ・次年度新聞雑誌選定終了 ・購入図書の選書終了 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会読み聞かせ発表 ・おすすめの本紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・郡山市学校図書館視察研修
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・学年別読み聞かせ等 ・児童参加型壁面飾り「クリスマス」 ・2学期貸出冊数集計 ・電算システム運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス飾り作成 ・冬休み用貸出受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとしょかんだより配布 ・学校図書館活用教育講演会（学校教育課主催）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・お正月お楽しみ企画実施 ・購入図書の受入 		<ul style="list-style-type: none"> ・購入図書の選書確認・発注終了
2月			<ul style="list-style-type: none"> ・購入図書の納品終了 ・子どもとしょかんだより配布
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業記念プレゼント作成 ・学級文庫返却 ・3学期貸出冊数集計 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出返却受付 ・後期活動の反省 	

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

4～5月

- ・図書室内壁面装飾「ミツバチと4月から9月の季節の花々」
- ・貸出カード作り（今年度の新しい試みとして、読書のめあてのワークシートを添付）
- ・新しく入った雑誌の紹介コーナーの設置（図書室廊下スペース）
- ・図書館オリエンテーション（全学年・読書のめあて）
- ・図書室廊下壁面装飾

①野菜と動物たちの楽しい分類表示

様々な野菜に0～9類、「えほん」と表示。どの分類の本を借りたか確認できるよう工夫。

②「まいにちがどくしょびより」（写真1）

男の子と女の子が洗濯物を干している様子を表現し、「洗濯日和」にかけて、空に「まいにちがどくしょびより」と雲で表現し、読書をする事の大切さを伝えた。



写真1

カラフルな色使いで廊下を明るい雰囲気

- ・理科クイズの実施
天体望遠鏡の寄贈を受けたことから、廊下掲示板にその新聞掲載記事（「福島民報2017年5月11月号」）とともに宇宙や星のクイズを掲示し、答えは図書室内に貼り確認させる方法で行った。
- ・「ぶらさがりブックモンキー」のリニューアル
一昨年度末から行っている、本を借りたら木にモンキーをぶら下げる取り組み。今年度は今週のモンキーの数（本を借りた人数）を表示。児童からのアイデアを形にした「レアモンキー」を随時追加し、そのメンバー紹介も合わせて掲示したところ、人気が復活した。（写真2、3）

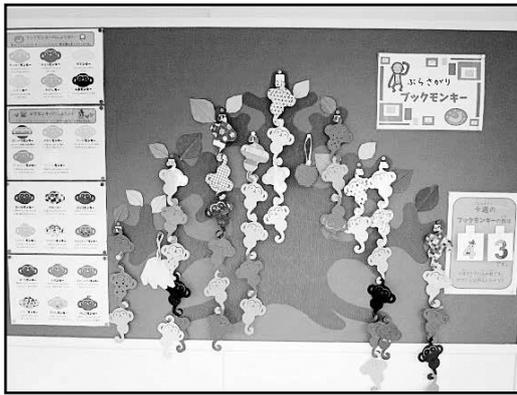


写真2

児童の発想を形にした新ブックモンキー

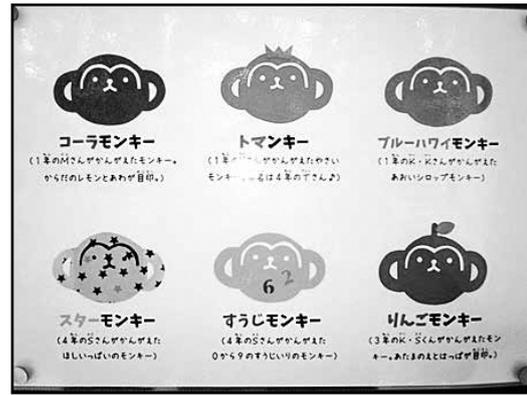


写真3

考案児童の学年とイニシャルを載せて紹介

- ・ブックランド委員会への折り紙指導（クローバー）
- ・理科クイズ作り指導（アイデア探し）
- ・読み聞かせ等実施回数 合計12回（1年…6回、2年…2回、3年…1回、4年…1回、5年…1回、6年…1回）

6～7月

- ・4類ラベル変更（旧ラベルはがし・正しい分類番号の付与・新ラベルの貼り付け）
- ・課題図書を受入
- ・七夕笹飾り（ボランティアの方から提供を受けた笹に飾りや児童が書いた短冊を吊るした）
- ・「スイミーくじ」（7月初旬より開始）
絵本『スイミー』（レオ＝レオニ／作・好学社）より考案した今日の運勢占い。折り紙で黒い魚（スイミー）を1匹、赤い魚を1匹作成。他にクラゲ等を作成。スイミーのみ「大吉」とし、残りの魚には「中吉」「小吉」「吉」「末吉」と表示して箱に入れ、児童に引かせた。
- ・企画本「夏休みにおすすめの本」（読書感想文の書き方や自由研究の本、夏に関連した本等）
- ・1学期の読書活動の振り返り（全学年）
1・2・4・6年児童はそれぞれ図書室で実施し、貸出カードに添付したワークシートを使って、完読目標冊数を達成できたかやいろいろな分類の本を読んだか等を振り返り、最後には心に残った本の発表と2学期の目標を立てた。
- ・4年理科研究授業のサポート（写真4、5）
○授業テーマ「多様な調べ学習を通して考えたことを発表し、学び合うことで科学的な思考を深めることができる」
○単元名「動物のからだのつくりと運動」
○サポート内容「児童に人体図鑑等を提供して腕を曲げたり伸ばしたりしたときの筋肉の様子を調べさせ、調べた結果をカードにまとめ、発表できるようにする」
○事後研究会にて
成果：答えを見つけてまとめ、発表するまで、円滑に行うことができていた。
課題：自主的に調べ、積極的に意見を出し合ってまとめることができるとよかった。



写真4

図鑑で調べたことをカードに記入する様子



写真5

カードや資料を電子黒板に写して発表

- ・電算化作業（図書へのバーコード貼り付け・書誌データの登録）
- ・読み聞かせ等実施回数 合計13回（1年…6回、2年…3回、3年…1回、4年…1回、5年…1回、6年…1回）

8～10月

- ・電算化作業（書誌データの登録）
- ・出張貸出（2学期開始から10月中旬まで）
電算化作業の効率化を図るため、図書室での個人貸出を行わず、ブックランド委員がクラスに出張して、学級文庫の本で個人貸出を行った。期間中、図書室自体は開放し、図書閲覧や調べ学習等での活用は可能とした。
- ・「はりねずみのつつみはどこに…？」（9月下旬より開始）
絵本『きりのなかのはりねずみ』（Y・ノルシュテイン／作、コズロフ／作、F・ヤールブソワ／絵・福音館書店）より考案した占いくじ。折り紙で作成した「巾着袋」に小さくカットしたカラーパネルを封入して、物語の中ではりねずみが持っている「つつみ」を表現した。そのはりねずみが持っている「つつみ」の中身が「のいちごのはちみつに」であることから、6種類の「つつみ」にはそれぞれ果物に関連した占い結果を表示した。（写真6、7）



写真6 読み聞かせ後はくじ引きの時間に…

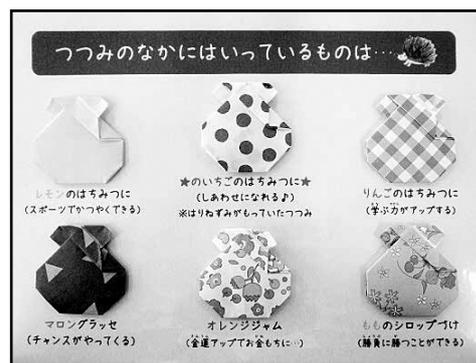


写真7 つつみの中身と占い結果を表示

- ・日本と外国の絵本ラベル変更作業（図書ボランティア共同）
- ・読み聞かせ等実施回数 合計11回（1年…5回、2年…1回、3年…1回、4年…1回、6年…1回、1・2年合同…2回）

11月～1月

- ・電算化作業（書誌データの登録）
- ・中央図書館見学案内（2年）

クイズを交えながら館内を案内し、最後は読み聞かせを行った。学校に戻ってから質問タイムを設けて、児童からの様々な疑問に対応した。後日いただいた児童からのお礼状からは楽しく学べたことが分かった（お礼状は中央図書館内こども図書館に掲示）。

- ・図書室内壁面装飾「ミツバチと11月から3月の季節の花々」に変更した。（写真8）



写真8 書架上の広い壁面に花々を飾って楽しく季節が感じられる空間作り

- ・市費購入図書の選書・受入
- ・ブックランド委員会の理科クイズと読み聞かせの発表（全校集会にて）

今年度購読を開始した雑誌『こども百科ワンダーキッズペディア』を活用して、理科クイズを作成し、全校集会でクイズの出題を行った。合わせて、中央図書館から借用した大型絵本の読み聞かせを行い、児童からとても好評だった。

- ・11月読書月間企画「読書ポイントカード」

11月から12月にかけて、1冊借りるごとに1ポイントずつ貯まる「読書ポイントカード」を実施。10ポイントでステージクリアとし、達成者は1月に「おたのしみプレゼントくじ」が引けるという企画。プレゼントは雑誌や図書の付録に加えて、ブックランド委員の手作りのしおりや児童の折り紙作品などを組み合わせて、全部で35個用意した。くじ引き当日はブックランド委員が対応し、とても楽しいイベントとなった。達成者…35名（写真9、10）



写真9 読書ポイントカードとプレゼントくじ



写真10 拍手とともにくじ引き開始

- ・2学期の読書活動の振り返り（全学年）

4・6年児童はそれぞれ図書室で、他学年は各クラスで実施。1学期と同様、貸出カードに添付したワークシートで読書活動を振り返り、心に残った本の発表と3学期の目標を立てた。

- ・ブックトーク（6年・読書タイム）

『飛ぶ教室』（エーリヒ・ケストナー／作・岩波書店）を紹介。①6年生が男子児童6名のみのク

ラスであること、②クリスマス前の時期であることから、この作品を選んだ。まえがきの「作者の若者たちへの思い」を読み上げた後、『ヒーロー&ヒロインと出会う名作読書きっかけ大図鑑第1巻』（日本図書センター）を使い、登場人物とあらすじを紹介した。特に登場人物の紹介では、クラスメイトと似ている人物を見つけたことで物語に興味を持ったようだった。

- ・読み聞かせ等実施回数 合計15回（1年…9回、2年…2回、3年…1回、5年…2回、3・4年合同…1回） ※4月～3月…合計62回

5 中央図書館からのサポート内容

- ・図書の発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 475点/年

6 学校図書館貸出実績

(1) 年間貸出点数

① 個人貸出点数 (単位：点)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総合計
年間合計	380	404	581	276	229	139	2,009
一人あたり	76.0	80.8	52.8	34.5	25.4	23.2	45.7
一人あたりの昨年度比	139%	191%	131%	76%	86%	43%	101%

- ※1 1人2冊まで1週間の貸出、貸出日は木曜と金曜の週2回。
- ※2 夏休み用貸出と冬休み用貸出のみ1人3冊まで貸出可。

② 学級文庫貸出点数 (単位：点)

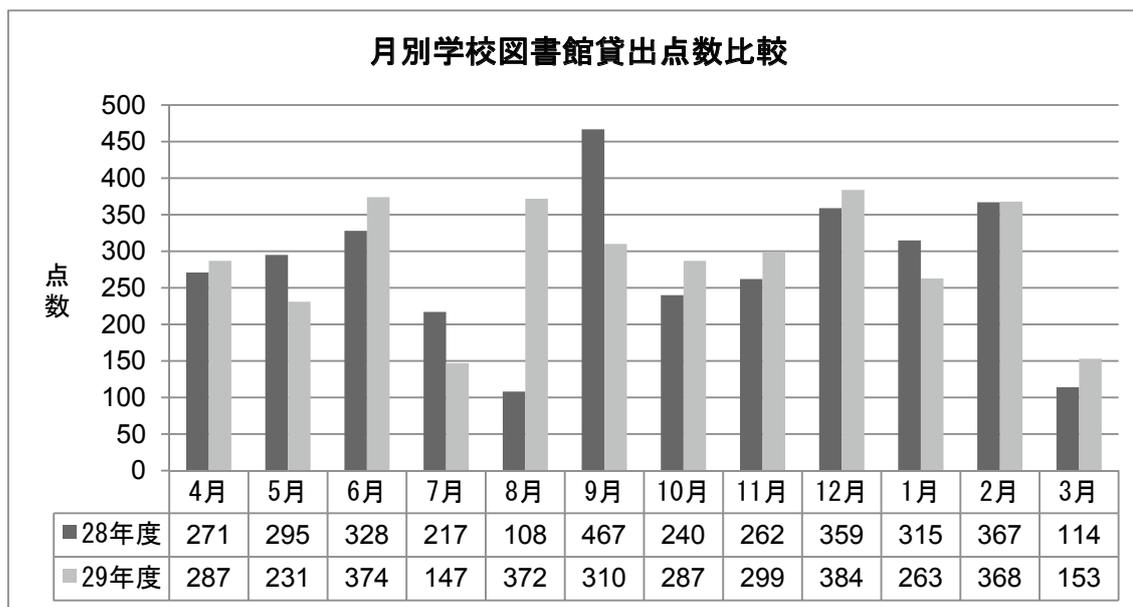
	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	総合計
学年合計	171	197	119	283	152	178	1,100

③ 調べ学習等貸出点数 (単位：点)

	1年 (1クラス)	2年 (1クラス)	3年 (1クラス)	4年 (1クラス)	5年 (1クラス)	6年 (1クラス)	総合計
学年合計	111	36	105	89	25	0	366
昨年度比	125%	60%	109%	189%	250%	0%	110%

(2) 学校図書館利用実績比較

表1 月別貸出点数の比較



今年度は昨年度より児童数が7名減り、昨年度に比べ、貸出点数の減少した月があるが、全体的には概ね増加が見られる。8月の貸出点数の増加は、出張貸出の実施のため、学級文庫の冊数を増やしたことによる。11月の読書ポイントカードには、読書意欲を高める効果が見られた。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- 成果1 ブックランド委員作成の理科クイズを全校集会の場で発表することにより、児童からの反応を直接感じられ、委員の児童が達成感を得ることができた。また、クイズの作成で、新たに購読を開始した雑誌が有効的に活用された点もよかった。
- 成果2 学期末に読書活動を振り返る場を設け、心に残った図書の発表を行ったことは、児童の読書傾向を知るきっかけになったとともに、児童が嬉しそうに発表する姿からも有意義な読書活動につながったと考えられる。
- 成果3 4年理科研究授業のサポートなど、授業での図書資料の活用が積極的になされた。
- 成果4 先生方と図書ボランティアの方の協力を得て、図書室の全ての図書にバーコードを貼り終え、うち9割の図書の電算化が終了したことから、2月からはバーコードでの個人貸出を開始することができた。

(2) 来年度に向けた課題

- 課題1 今年度の貸出カードには、分類番号を記入し、最後まで読んだかの印をつけることとしたが、学校図書館支援員の指摘がないとつけ忘れる児童が多いことから対策を検討する。
- 課題2 分類ラベル変更作業について、今年度目標の4類ラベルは完了したが、科学絵本が未完のため、他の分類図書も含め、変更作業を効率よく進める。
- 課題3 高学年になると、貸出冊数が減少する傾向が見られるため、これまでの読書週間が途切れないう、高学年の実態に即した取り組みを検討する。